

講義コード	433100801	
講義名	異文化関係論	
(副題)	HP-HPC-227	
開講責任部署	人間文化学部心理コミュニケーション学科 (大学)	
講義開講時期	後期	
基準単位数	2	
時間	0.00	
代表曜日	火曜日	
代表時限	3時限	
科目分類名	専門教育科目	
科目分野名	コミュニケーション系科目	
対象学部・年次	人間文化学部心理コミュニケーション学科・2年～	
必須/選択	選択	
担当教員		
職種	氏名	所属
専任教員	玉城 要	人間文化学部

授業の概要

授業の進め方についての基本型は以下の通り。

ア：授業者（玉城）は、時間割上の授業時間中にノートパソコンを携帯して教室に常駐し、インターネットへの接続を維持する。

イ：学生は、インターネットに接続し、WebClass上の資料に基づき学習を進め、指定された期限までに「課題」を提出する。

ウ：ア、イの活動を以って、一回の授業における学習は「完了」とする。

上の「基本型」の補足説明と付随することからは以下の通り

- ・教室で授業をしているけれど、遠隔授業用教材を用いる。
- ・対面式授業の同時双方向性は担保されている。
※その場での質問にも、メールでの質問にも即時対応する。
- ・教員のtalk&chalkという一方的な一斉授業は行わない。
- ・学生が個々のペースで学習できる。学習の主体は学生である。
- ・学生は時間内にWebClassを使って課題提出する。
- ・学生は仮に時間割上の時間内に課題提出ができなくても、指定された期日までに課題提出をすれば、それをもって「学習完了」とする。
- ・遠隔授業受講希望者にも対応している。
- ・仮にかつてのコロナ禍のような事態が起きて全面遠隔授業に切り替えられた際もスムーズに移行できる。

授業で扱う内容については、下欄「授業の到達目標及びテーマ」「授業計画表」を参照してください。

授業の到達目標及びテーマ

「異文化関係」というと、自分の日常生活とは直接関係のない「どこか遠くの難しい話」と感じるかもしれません。私たちは何らかの人間集団に属して生きています。その集団の構成員には共通した価値観や活動の様式があり、それが「文化」として「モノ」と「ココロ」の両面に現れてきます。また、私たちは集団の構成員としてだけでなく個人としても様々な価値観を持ち、それに基づいて「文化」を生みだしているとも考えられます。広い意味で、私たちは日常的に「異文化関係」の中にあると言ってもいいでしょう。この授業では、異なる文化がどのように関係している（いた、いく）のかを、できるだけ「身近なところから始めて遠くに行きすぎない範囲で」考えます。学生のみなさんに「異文化関係」を意識するいろいろなきっかけを提示するつもりなので、あえて統一テーマは設けません。

本科目は心理コミュニケーション学科のディプロマポリシー「3. 心理学とそれを相互補完する社会学・言語文化分野を学修の中核に定めた上で、人間と文化に関する体系的な学修を自らの力で設計・履修し、所定の単位を修得できている」を達成するための科目です。

授業計画表

第1回	内容	ガイダンス 「異文化関係」とは「遠くの難しい話」なのだろうか
第2回	内容	新渡戸稲造『武士道』とキリスト教
第3回	内容	新渡戸稲造『武士道』と儒教・仏教・神道

第4回	内容	現代人と「武士道」 武士なき世の武士道
第5回	内容	内村鑑三『代表的日本人』その①西郷隆盛と上杉鷹山
第6回	内容	内村鑑三『代表的日本人』その②二宮尊徳と中江藤樹
第7回	内容	お茶をめぐる文化…陸羽『茶経』と岡倉天心『茶の本』
第8回	内容	お茶をめぐる文化…中国・日本・英国・その他
第9回	内容	中国の童蒙書『三字経』をめぐる…『本朝三字経』から『西洋三字経』へ
第10回	内容	女訓書をめぐって…『列女伝』から『女三字経』、明治近代女子教育と中国の女子教育
第11回	内容	渋沢栄一と『論語』…経済学と古典の接点
第12回	内容	第12週 湯川秀樹と『老子』『荘子』…先端科学と古典の接点
第13回	内容	沖縄あれこれ…中国から日本へ
第14回	内容	沖縄あれこれ…日本からアメリカへ、そしてふたたび日本へ
第15回	内容	沖縄あれこれ…「あの世」との関わり

授業時間外の学修

上に示した〔授業計画〕に出てくる人名・書名を辞書やインターネットなどで気楽に検索しておいてください。

授業終了後に、授業で使用した資料に出てくる不明な語句・事項などについては自分で調べて解決しましょう。
さらに、授業で扱った内容から発展させて自分で参考書や辞書、インターネットなどを利用し関連する事柄を調べたり、自分用のノートを作ったりしましょう。
これらの予習・復習に該当する時間の目安は2時間～3時間です。

実務経験の有無

ディプロマポリシーとの関連

ディプロマポリシー①③ 自律学習能力の修得	ディプロマポリシー② 専門的知識・技術の修得	ディプロマポリシー④ 分析・論理構成・表現力の修得	ディプロマポリシー⑤⑥ 問題解決能力・協働性の獲得
◎	◎	○	○

ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
自主性・計画性・「自分事」の意識を持って行動しているか。	毎回の授業時に示される内容確認課題をすべて（～8割以上）期限内に提出している。	毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に7割以上8割未満で提出されている。	毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に6割以上7割未満で提出されている。	毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に4割以上6割未満の提出しかなされていない。
論理的思考に基づき、読み取る力、表現力、（再現）する力が備わっているか。	授業資料の内容、課題の指示内容を正確に読み取り、それに基づく「解答・回答」が正確で不備がない。	授業資料の内容、課題の指示内容をほぼ正確に読み取り、それに基づく「解答・回答」がほぼ正確で不備がない。	授業資料の内容、課題の指示内容を読み取れず、それに基づく「解答・回答」がやや不正確で不備が見られる。	授業資料の内容、課題の指示内容を読み取れず、反射的に「解答・回答」している。
想像・創造・発展を意識して行動しているか。	授業資料の内容、課題の指示内容を越えて調査考察したことがらや、自身の見解を、課題の「解答・回答」に表現している頻度が高い。	授業資料の内容、課題の指示内容を越えて調査考察したことがらや、自身の見解を、課題の「解答・回答」に表現する場合もある。	授業資料の内容、課題の指示内容を越えて調査考察したことがらや、自身の見解を、課題の「解答・回答」に表現する場合がない。	授業資料の内容、課題の指示内容を読み取らない。

倫理性を意識して課題解決・達成に結びつく行動をしているか。	※レポート、調査考察型の課題の場合 引用・参照元などを正確に明示している。	※レポート、調査考察型の課題の場合 引用・参照元などを示す際にやや不備がある。	※レポート、調査考察型の課題の場合 引用・参照元などを明示せず、自身の見解と混同している。	※レポート、調査考察型の課題の場合 ただのコピペ・盗作
-------------------------------	--	--	--	--------------------------------

成績評価法（表形式）

	評価基準	備考
定期試験		
小テスト等	100%	「小テスト等」というのは、毎回の授業の課題を意味する。
成果発表		
授業への貢献度		
レポート		
その他		

課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
授業の冒頭で解説、講評する	授業の冒頭で解説、講評する	その都度解説、講評する

ICTを活用した双方向型授業の内容

メール等の活用

アクティブラーニングの割合

総授業時間数の30～60%程度のアクティブラーニングである

アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
小テストや授業内レポートの活用 調べ学習・調査の活用	PBL(課題解決型授業)	授業後レポート

教科書

教科書は使用しない。PowerPointで作製したスライド資料のpdfファイル（音声、動画は含まない。話ことばを意識した文字主体の資料とする）を提示する。必要に応じてWordで作製した資料のpdfファイルを提示する

参考書

必要に応じて紹介する

SDGsとの関連

4. 質の高い教育をみんなに

特記事項等

課題・レポート等のフィードバックの方法
次の回の授業用資料で、解答や解説を示します。
また、個別かつ急を要する質問については、メールで対応いたします。

研究室（訪問先等）

中央研究棟 4階 408研究室

授業用E-mail

成績評価法

秀：毎回の授業時に示される内容確認課題をすべて期限内に提出し、その解答が正確でほぼ不備がなく、かつ自身の見解や、調べたことなどが追記されている場合。

優：毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に8割以上提出されていて、その解答が正確でほぼ不備がない場合。

良：毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に7割以上8割未満で提出されていて、その解答が正確でほぼ不備がない場合。

可：毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に6割以上7割未満提出されていて、その解答が正確でほぼ不備がない場合。

不可：毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に4割以上6割未満の提出しかなされていない場合。

無資格：上記、いずれにも該当しない場合。